

8-4-8 協調領域検討WG

1. WG 設置主旨

東京大学「i-Construction システム学寄付講座」に設置された「協調領域検討会」において、設計段階における協調領域の検討を主導することを目的として、令和5年6月、統括技術委員会の下に設置されたWGである。

2. 主な活動の記録

当WGは「設計WG」の主導を主な役割としつつ、「維持管理WG」や「プロセス間連携WG」等の他の検閲プロセスを対象としたWGへも人員を派遣しながら、建設業界全体の検討に貢献した。これらの活動では、測量、地質調査、施工、国土交通省等、建設業界を構成する様々な業界団体とも連携しながら、既存の業界間の役割分担の改善も踏まえた協調領域の社会実装に向けた検討を行った。また、今年度は建設業界全体の共通データ環境の在り方と社会実装を目的とした「R-CDE 協議会」の準備会にも参加し、将来のデジタル社会における設計業務の在り方についても検討した。

「設計WG」では、検討を具体的に進めるために、設計が対象とする4つの工種（河川、道路、橋梁下部工、砂防）を対象としたSWGを設置し、それぞれにメンバーを割り振った。その上で、各工種で共有する課題に対しては、分野横断的なPTを編成して、集中的に検討を進めた。これらの検討において、これら最先端の議論は次世代を担う者達にも有益であるとの考えから、委員以外の希望者に「サポーター」として参加させた。

(1) WG の開催（計9回）

当WGは、当協会以外の産官学からも参加する協調領域検討会の「設計WG」と同時開催という形式をとって、合計9回開催した。また、これらのWGの進捗に合わせて、別途SWGを開催した。

- a) 第1回 WG 会議（4月25日）
- b) 第2回 WG 会議（5月30日）
- c) 第3回 WG 会議（6月27日）
- d) 第4回 WG 会議（7月25日）

- e) 第5回 WG 会議（10月24日）
- f) 第6回 WG 会議（11月28日）
- g) 第7回 WG 会議（12月19日）
- h) 第8回 WG 会議（1月30日）
- i) 第9回 WG 会議（2月21日）

(2) 東京大学「協調領域検討会」へ参加

「協調領域検討会」の全体会議に参加し、検討の進捗内容を報告した。

- a) 令和6年度第1回（4月26日）
- b) 令和6年度第2回（8月23日）
- c) 令和6年度第3回（12月20日）

(3) 第2回「協調領域セミナー」の主催

協調領域検討会の概要と設計WGの検討内容について当協会の会員企業に周知する目的で、会員企業向けのセミナーを主催した。

- ・日時：令和6年4月24日

(4) 東京大学「第4回協調領域シンポジウム」への参加

東大主催の協調領域検討会の全体報告会のなかで、設計WGの検討内容について報告した。

- ・日時：令和7年3月10日

(5) その他の対外活動

- ・土木学会年次学術講演会（共通セッション「データ連携とプロセス改革」(第2回)の主催)

3. 次年度の活動について

本年度に構築した体制（SWG×PT）の下で、協調領域の社会実装に向けた検討を継続する。

- ・WG：毎月1回程度で計9回
- ・SWG及びPT：適宜開催
- ・協調領域セミナー：第3回（4月）
- ・協調領域シンポジウム：第5回（3月）
- ・対外活動：土木学会全国大会（9月）、他

（協調領域検討WG WG長 小沼 恵太郎）